

事業番号	415
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	図書等購入事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	図書館							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	図書係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 生涯学習		3 図書館サービスを充実します									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	5		目	8		大	2		中	2	
	根拠法令・個別計画	図書館法、小牧市立図書館選書委員会設置要綱														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市民の文化、教養、実用、調査研究のニーズに応え、図書館として適切な図書、雑誌、視聴覚資料等を購入し、市民に必要な情報提供をしていく。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 市民の文化、教養、実用、レクリエーション、調査研究等、市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、図書や雑誌、新聞、CDやDVDなどの視聴覚資料等、多種多様な資料を購入している。</p> <p>資料選定にあたっては、(潜在的なものや将来予測されるものを含め)市民の期待とニーズの把握に努め、反映させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選書委員会:3回(6/25,11/26,2/28)開催、 ・購入希望(リクエスト):3,770点 ・予約:94,939点 ・図書購入冊数:20,850冊 ・視聴覚資料購入点数:1,117点 <p>◆25年度直接経費の内訳 消耗品費 44,723千円 備品購入費 4,286千円 選書委員会委員謝礼 94千円</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 消耗品費 45,999千円 備品購入費 4,291千円 選書委員会委員謝礼 96千円</p> <p>※23年度直接経費については、図書購入用予算の約50%(27,057千円)を国の「住民生活に光をそそぐ交付金」にて充当(本事業とは別の「住民生活に光をそそぐ事業」で購入)したことにより例年の半額となった。</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	22,980	49,873	49,103	50,386	
		正職員	従事者数	人	3.50	3.50	3.50	3.50
			人件費	千円	18,410	18,410	18,410	18,410
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	41,390	68,283	67,513	68,796	
	対前年比	%			164.9	98.8	101.9	
財源	一般財源	千円	41,390	68,283	67,513	68,796		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	年間購入点数	点	目標		—	—	—
実績				21,208	22,232	21,967	
所蔵点数(図書館施設すべて)	点	目標		—	—	—	—
		実績		521,140	538,099	548,934	
成果指標名	単位	目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	貸出点数(図書館施設すべて)	千点	目標		—	—	—
実績				1,108	1,078	1,021	
資料回転率(貸出点数÷所蔵点数)	率	目標		2.00	2.00	2.00	2.00
		実績		2.13	2.00	1.86	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	市民生活の幅広い要望に応え、適切な資料を収集することができた。平成20年7月にえほん図書館が開館した後、21年度をピークに貸出冊数が微減している。				
		事業実施における課題	貸出点数が減少しているため、原因分析を行い、それに対応した選書や図書館に行きたいと思わせる環境づくりを進める必要がある。また、電子図書館の導入についても研究を進める必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	図書館としての機能が停止し、利用者へ資料提供を行うことができない。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・館内サインの見直しや更新を行い、明るい雰囲気づくりに努める。 ・古い図書の更新を進めて、鮮度の高い書架を維持する。 ・ホームページを常に更新し、積極的な情報発信に努める。 ・「小牧山コーナー」、「ビジネス支援コーナー」の設置や「私の好きな本」の掲示に取り組む。 ・広域利用者の制限緩和を検討する。 				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
		判定理由	手に入りやすく人気のあるものを揃えるだけでなく、長期的視点から図書館に備えるべき資料収集も継続していく必要があるため。				
		27年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・予約リクエストに積極的に答える。 ・市民の生涯学習に必要な資料を充実させる。 ・新図書館向けの資料について検討を進める。 ・電子資料の提供について、先進事例を研究する。 				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。貸出点数、資料回転率が、年々減少傾向であるため、利用者にとって本当に必要な資料を購入できているか、必要性の低い資料を購入していないか等について改めて検証し、事業成果を向上させるよう取り組むとともに、現在、急速に普及が進んでいる電子書籍の導入についても研究していくこと。